



日本料理 扇屋



☎3480-0111 東和泉1-19-1 営業=午前11時30分～午後2時/5時～10時30分、日曜・祝日休み

狛江駅南口にある「扇屋」は産地直送など新鮮な食材を使った本格的な日本料理が楽しめる老舗として40年以上にわたって親しまれ、広い座敷があるため宴会や会席料理にも利用されている。

オーナーの鈴木愛子さんが築地市場で仕入れた魚介類に加え、八丈島からトビウオ、金目鯛などの魚やくさやなどの特産品を取り寄せている。刺身に使う魚は天然物に限定しており、野菜



旬の素材で本格的な日本料理

も狛江産を中心に新鮮なものを使うほか、八丈島の自家用農園で栽培した八丈オクラやアシタバなども提供する。厳選した旬の素材を、板長の乙黒隆幸さん(56)と古根村浩二さんが腕をふるい60種にのぼる一品料理やフルコースの会席料理を提供。狛江市のランチ逸品コンテストで「粕菜おうち膳」が優秀作品に選ばれ、現在も人気メニューになっている。

夏は、金目かぶと煮(1,300円・以下税別)、ハモとウドの柳川風(1,500

円)、あゆ塩焼(700円)、刺身盛り合わせ(1,700円～)、うな重(特上3,600円)などが人気。一品料理に加え、コース料理(4,000円～)、パーティー料理(3,000円～)もあり、予算に合わせて調整できる。

店内はカウンター6席、テーブル3卓、座敷3室のほか30人収容の広間があり、友人同士や家族連れ、グループの宴会や接待など、幅広いニーズに応じている。

鈴木さんは「日本料理は敷居が高いと思われがちですが、そのおいしさをたくさんの人に知っていただきたいです」と勧めている。



(右から)乙黒さん、鈴木さん、古根村さん

8月の 狛江野菜



キュウリ

ヒマラヤ原産といわれ、日本では平安時代から食用にされた。昔は熟した実を食べたが、現在は未成熟のものを食べる。市内では多くの農家が栽培、2月後半から3月に種子をまき、約1カ月後に定植、支柱やネットにツルを巻き付けて育て、5月下旬から9月上旬に収穫する。初夏はハウス栽培が多いが、夏の盛りは露地栽培が中心で、気温が高いため1日で数センチ以上生長するため、2回収穫することもある。

石井恵司さん 53歳(猪方)



年間約40種の季節野菜を栽培し、JAとスーパー2店に出荷するほか、中学校給食に野菜を提供する。夏はキュウリ、トマト、枝豆、ナスなど10数品目、秋から冬はホウレンソウ、コマツナ、シュンギクなどの葉物やブロッコリー、キャベツ、ネギ、ハクサイなどを栽培している。出荷する野菜が途切れないよう、一部の夏野菜はハウスで栽培し5月から出荷する。収穫時期を早めるため、苗を活性化させた状態に保ったり、長期間収穫できるように生育管理に努めている。「新鮮でおいしい野菜を提供するため、品質管理に力を入れています」と話している。



おいしい野菜を提供するため、品質管理に力を入れています」と話している。

ら毎週1回、ハウスで種子をまいて計画的に作付けし長期間にわたって収穫する。ネギは2種を10カ月以上かけて大切に育てる。野菜はすべて種子から栽培しており、10数年前まで食品会社の研究職だったため、生育状態に細かく気を配る。「日々研究をモットーに生育管理に時間をかけて、おいしい野菜ができるように努力しています」と話している。

小川光政さん 55歳(猪方)



のらぼう菜、ニンジン、サトイモ、フキ、モロヘイヤなど年間10数種の野菜と次郎・富有柿を栽培し、JAとスーパー2店に出荷している。主力は枝豆とネギ。父の代から好評の枝豆は2月下旬か

狛江GAP研究会会員の横顔



10年間で根付いた 狛江の絵手紙の輪

発足10周年を迎えた「絵手紙発祥の地-狛江」実行委員会の委員にこれまでの歩みを聞いた。

「10年前に市の事業として取り組みが始まり、エコルマ1に懸垂幕を掲げるなどPR活動が積極的に進められ、多くの市民が知るようになりました。しかし、普及にあたっては、当時市内で絵手紙の創作をしている人が少なく、指導者が不足するなど、いろいろな課題があり、手探りで克服してき

ました。現在ではエコルマホール6階展示・多目的室や市役所ロビーの絵手紙ひろばもコンスタントに定員が埋まるようになりました」「市民総合体育館に500人も人が参加して絵手紙教室を開いたり、狛江駅北口の地下駐車場の排気塔に巨大な絵手紙を掲示したりといった大きな事業も行いました」「子どもを対象とした絵手紙の授業は、最初は1校でしたが、現在では9校の小中学校で継続的に行われています」「現在の愛好者は中高年が中心ですが、若い人たちにも広げて



500人絵手紙教室

ひろがれ 絵手紙の輪

いきたいです」。曾根嘉七委員長は「委員会の活動が多くの人に支えられ、10年目を迎えられたことに感謝しています。これからも狛江に根付いた活動を続けていきます」と話している。

10周年を記念して9月29日(土)に市内在住の絵手紙作家小池邦夫さんの講演会と狛江の魅力スタンプラリーが催される。問い合わせ☎3488-9172書舎コイケ

「狛江の日」音楽祭

～音楽と食が彩るひととき～

「狛江の日」音楽祭が9月10日(日)にエコルマホールと緑の三角ひろばなどで開催される。

このうち、緑の三角ひろばではさまざまなジャンルの12団体による音楽演奏と、市内の飲食店8店が屋台村で飲食を提供する音楽と食の祭典がくり広げられる。午前11時45分～午後1時35分▶出演:イズミスィング・オーケストラ(ジャズ)、はいさい(沖縄音楽)、MOGURA(アコースティックデュオ)、狛江ともしび音楽隊(昭和歌謡) 午後2時10分～4時10分▶STEPS(ジャズ)、JJサクソフォン・カルテット、kotowari(ロック)、キパフル(ハワイアン) 午後4時45分～6時15分▶ブルームーン(カントリー&ウェスタン)、ヴォーカルグループ 紅い花白い花、池田みさ子とオルテンシア+1(タンゴ) 午後7時～8時▶エーデルワイス・カペレ また、狛江駅北口噴水前ステージで、午前10時からオープニング・セレモニーとしてきんたの会の和太鼓と民舞、午前11時15分と午後1時45分にソプラノ歌手の川島由美さんによる弾き語りのパフォーマンスが行われる。いずれも入場無料。 また、エコルマホールで行う有料公演のチケット販売も行っている。

詳細は狛江市観光協会ホームページを参照。問い合わせ☎3430-4106(午前9時～午後7時、火曜日休館)エコルマホール。



狛江市観光写真コンクール 9月3日に狛江フォトラリー

市内を歩きながら実践的な写真の撮り方を学ぶ狛江フォトラリーが9月3日(日)午前9時～正午に催される。

平成29年度狛江市観光写真コンクール(狛江市観光協会主催)に伴って企画されたもので、防災センターで写真撮影についての基本的な知識を学んだ後、市内の観光スポットを回りながら実技指導を受ける。対象は小・中学生とその保護者15組で、カメラ(スマートフォンも可)と保険料等50円が必要。詳しくは狛江市観光協会ホームページを参照。

また、観光写真コンクールは、「狛江の魅力を見つけ出せ!」をテーマとして応募を9月30日(土)まで受け付けている。

問い合わせ☎3430-1111狛江市観光協会事務局(狛江市地域活性課内)。

狛江駅北口徒歩1分 728席 狛江 エコルマホール 公演情報 倶楽部員会員随時募集中!

BLUE MOMENT 一宝塚との出逢い 出演/夢輝のあ 羽純のい 朝澄けい 羽咲まな 宝塚歌劇に興味があるけれど、なかなか歌劇団の劇場に行けないと言う方に朗報です。宝塚歌劇団OGの4人が、あの宝塚の世界をここに再現! ジャズ、ラテン、シャンソンなどの名曲を歌い、踊る華麗なレビューショーをご堪能ください。 8/26(土) 16:00開演 全席指定 ¥4,000

エコルマキッズ・アワー Magic & 音あそびコンサート 未就学児OK! 出演/笑太夢(しょうたいむ) Magic & YMカルテット 世界マジックフェスティバル・銅賞にも輝いた、笑太夢(しょうたいむ) Magicによる、あれあれ不思議な楽しいマジックショー、そして、遊びながら、みんなと一緒に音楽をまなんじやう、YMカルテットによる歌と楽器のコンサートの2本立て!! 10/22(日) 14:00開演 全席指定 一般¥1,000 小学生以下¥500

一般財団法人 狛江市文化振興事業団 託児サービスあり=エコルマホール主催公演では託児サービスが利用できます(2歳以上の未就学児ひとりにつき1,000円・要事前予約)

住まいと暮らしの調和を創る 新築木の家は安心・安全 自然と調和 癒し空間 健康優良100年住宅 リフォーム、全面改装 大得意 ご相談、プランづくり無料 建築士専門家が対応します 0120-565-321 フリーダイヤルまでお気軽に! 受付時間9:00~18:00土日営業 トーケン トーケンリフォーム URL▶http://www.token-h.co.jp ●一級建築士事務所●建築・施工・監理 株式会社 東建ハウジング